

第4回小牧駅前広場等整備基本計画に関する有識者会議 会議録

1. 開催日時 令和8年7月7日(火) 午後6時30分から午後7時40分まで

2. 開催場所 小牧市役所 本庁舎6階 601会議室

3. 出席者

(1) 小牧駅前広場等整備基本計画に関する有識者会議委員

中部大学人文学部歴史地理学科 教授	大塚俊幸
名城大学理工学部建築学科 教授	生田京子
中部大学 名誉教授	磯部友彦
小牧商工会議所 副会頭	秦野利基
小牧まちづくり研究所合同会社 代表	加藤紀文
特定非営利活動法人こまき市民活動ネットワーク 代表理事	林義人
小牧小学校区地域協議会 会長	丹羽祐二
小牧市地域活性化営業部長	落合健一
小牧市都市政策部長	舟橋朋昭

(2) 事務局

小牧市都市政策部次長	川島充裕
小牧市都市政策部都市整備課長	大澤正人
小牧市都市政策部都市整備課都市整備係長	田中一平
小牧市都市政策部都市整備課都市整備係技師	野田茜音
小牧市都市政策部都市整備課都市整備係技師	坂野祐輔

(3) 傍聴者

4名

4. 議事

(1) 開会

(2) 議題

① 小牧駅前広場等整備基本計画(案)に関するパブリックコメントにおいて提出された意見及び意見に対する市の考え方について

② 小牧駅前広場等整備基本計画(案)について

(3) その他

(4) 閉会

5. 会議資料

資料 1	小牧駅前広場等整備基本計画（案）に関するパブリックコメント 実施結果概要
資料 2	小牧駅前広場等整備基本計画（案）に関するパブリックコメント において提出された意見及び意見に対する市の考え方（案）
資料 3	計画修正案
資料 4	小牧駅前広場等整備基本計画（案）
資料 5	小牧駅前広場等整備基本計画〔概要版（案）〕
参考資料 1	委員名簿

6. 議事内容

【事務局】

大変お待たせをいたしました。委員の皆様おそろいとなりましたので、ただいまより第4回小牧駅前広場等整備基本計画に関する有識者会議を開催いたします。

本日は、お忙しい中、本会議にご出席を賜り誠にありがとうございます。

私は、本会議の進行役を務めさせていただきます小牧市都市整備課長の大澤です。

よろしくお願いいたします。

はじめに、本日の会議資料の確認をさせていただきます。

次第、資料 1 小牧駅前広場等整備基本計画（案）に関するパブリックコメント実施結果概要、資料 2 小牧駅前広場等整備基本計画（案）に関するパブリックコメントにおいて提出された意見及び意見に対する市の考え方（案）、資料 3 計画修正案、資料 4 小牧駅前広場等整備基本計画（案）、資料 5 小牧駅前広場等整備基本計画〔概要版（案）〕、参考資料 1 委員名簿でございます。

資料につきましては、事前に委員の皆様へお送りさせていただいておりますが、本日お持ちでない方は事務局までお知らせください。よろしいでしょうか。ご確認ありがとうございます。

なお、会議資料につきましては、会場内のモニターにおいて、会議の進行にあわせて表示いたしますので、参考にご覧ください。

なお、本日は、名城大学理工学部建築学科教授の生田委員におかれましては、オンラインで会議にご参加いただいております。

また、前回同様、小牧駅前広場等整備基本計画策定支援業務委託の受注者であります株式会社国際開発コンサルタンツの担当者も同席しておりますのでよろしくお願いいたします。

それでは、ここで、事務局を代表しまして、都市政策部次長の川島より挨拶を申し上げます。

【事務局】

皆様、改めましてこんばんは。都市政策部次長の川島です。

本日は、ご多忙の中ご出席いただきまして、誠にありがとうございます。

また、委員の皆様におかれましては、日頃より市政各般に渡りご理解ご協力を賜っており感謝を申し上げます。

さて、この会議につきましては、現在、本市で検討を進めております「小牧駅前広場等整備基本計画」の策定にあたり、ちょうど1年前の令和7年7月に第1回を開催し、その後、第2回、第3回と会議を重ね、委員の皆様方から様々なご意見をいただいていたところであります。

本日の、第4回目の会議では、5月18日から6月16日までに実施いたしましたパブリックコメントで寄せられたご意見に対する市の考え方及び計画の修正案について、委員の皆様からご意見を伺うものであります。

委員の皆様におかれましては、活発なご議論をお願いいたしまして、簡単ではありますが挨拶とさせていただきます。

本日はよろしくお願いいたします。

【事務局】

続きまして会議の開催にあたりまして、大塚会長よりご挨拶をいただきます。大塚会長、よろしくお願いいたします。

【大塚会長】

会長を務めさせていただいております、大塚でございます。今日、4回目ということで、今、お話のありましたとおり、パブリックコメントの意見に対してどのように取り扱うかについて確認していただくところですが、ぜひ皆様積極的にご発言いただいて、会議を進めていきたいと思っておりますので、どうぞご協力のほどよろしくお願いいたします。

【事務局】

ありがとうございました。

それでは、次第の2議題に移ります。

以後の進行につきましては、大塚会長にお願いしたいと思います。

大塚会長、よろしくお願いいたします。

【大塚会長】

それでは、会議を進行してまいります。

本日の議題は、（１）「小牧駅前広場等整備基本計画（案）に関するパブリックコメントにおいて提出された意見及び意見に対する市の考え方について」と（２）「小牧駅前広場等整備基本計画（案）について」であります。これら２つは関連があるかと思われますので、一括での説明をお願いできればと思います。事務局より説明をお願いします。

【事務局】

それでは、議題（１）「小牧駅前広場等整備基本計画（案）に関するパブリックコメントにおいて提出された意見及び意見に対する市の考え方について」及び議題（２）「小牧駅前広場等整備基本計画（案）について」、ご説明させていただきます。

少し長くなりますので、着座にて失礼させていただきます。

はじめに、資料１「小牧駅前広場等整備基本計画(案)に関するパブリックコメント実施結果概要」をお願いします。まず、今回実施いたしましたパブリックコメントの概要についてご説明させていただきます。

１の「意見募集期間」であります。令和８年５月１８日から６月１６日までの期間で意見の募集を行いました。２の「意見募集の周知方法」につきましては、広報こまきの令和８年５月号及び市ホームページに意見募集を行う旨の案内を掲載し、周知を行い、３の「資料閲覧場所」としましては、市役所、各市民センター、各コミュニティセンター及び市ホームページにて計画書の案を閲覧できるようにいたしました。

この結果、４の「提出された意見の件数」となりますが、１９名の方から計４３件のご意見をいただきました。次の５の「意見の内訳」により、いただいたご意見の概要を項目別にご説明させていただきます。

まず、１、駐輪場に関するご意見としまして、景観上の問題や歩行者との交錯の懸念などを理由に駅東側への配置に対して反対する意見、また、駐輪場の面積拡大が必要であるといった意見も寄せられました。

次に、２、駅ビルに関するご意見としまして、現駅ビルの外観の改善に関する意見や、駅の東西の分断解消に向けてビルの建替移転が必要であるといった意見が寄せられました。

次に、３、市道小牧駅西線の一方通行化、横断指導線設置等に関するご意見としまして、シンボルロードである市道小牧駅前線も一方通行化してはどうかという意見、道路の廃止や歩行者天国化してはどうかという意見、駒止公園前の交差点への信号設置を求める意見、横断指導線ではなく歩道橋の設置を求める意見、北向きの一方通行ではなく南向きの一方通行が適切であるという意見が寄せられました。

次に、４、日陰に関するご意見としまして、日陰の必要性に関する意見がありました。

続いて、２ページをお願いします。

５、店舗（飲食店）に関するご意見としまして、魅力ある店舗の必要性に関する意見、駅東ではなく駅西への飲食店設置が必要であるという意見、ターゲット層を絞った店舗設

置が必要であるといった意見、名鉄小牧駅ビル1階部分を活用すべきであるといった意見が寄せられました。

次に、6、キッチンカーに関するご意見としまして、出店者の魅力・発信力・商品力が重要となってくるといった意見、出店基準・治安対策などの運用ルールの一必要性に関する意見が寄せられました

次に、7、治安、安全・安心な環境整備に関するご意見としましては、照明・防犯カメラの設置など安全対策を明記すべきであるといった意見が寄せられました。

次に、8、シェルターに関するご意見としまして、本計画上のシェルターが地下のものなのか地上のものなのかが不明でありイメージし難いというご指摘の意見が寄せられました。

次に、9、まちづくり団体との連携に関するご意見としまして、既存団体ありきではなく幅広く連携先を検討すべきであるといった意見が寄せられました。

次に、10、喫煙所に関するご意見としまして、小牧駅周辺は路上喫煙禁止区域に指定されていますが、路上喫煙禁止区域内における喫煙者への配慮という点からも駅前広場への喫煙所が必要であるといった意見が寄せられました。

次に、11、バスロータリー整備に関するご意見としまして、費用対効果が低いといった理由からバスロータリー再整備に対して反対する意見、また、計画案では現在の駅東公園の位置に東西の横長の形で配置する案となっていますが、これを駅東側に南北の縦長で配置してはどうかという意見が寄せられました。

次に、12、Park-PFIに関するご意見としまして、Park-PFIによる整備に対して反対する意見が寄せられました。

次に、13、空き店舗に関するご意見としまして、シンボルロードである市道小牧駅前線沿いの空き店舗の利活用に関するご意見が寄せられました。

次に、14、イベントに関するご意見としまして、イベント内容を工夫して多くの人達が来たくなる魅力的な街とすることが大切であるといった趣旨の意見が寄せられました。

次に、15、ターゲット層の設定に関するご意見としまして、活気を生むためにはある程度ターゲット層を絞ることが重要であるといった意見が寄せられました。

次に、16、名古屋鉄道株式会社との連携に関するご意見としまして、計画策定において同社の意向に振り回されすぎであるといった意見が寄せられました。

次に、17、緑化に関するご意見としまして、街路樹などの緑が多いことの重要性に関する意見が寄せられました。

次に、18、交番設置に関するご意見としまして、現実的に交番設置ができるのか不透明であるといった設置への懸念に関する意見が寄せられました。

次に、19、整備方針・空間デザインに関するご意見としまして、低コスト・可変型の広場整備が必要であり、舗装材・庇・簡易ベンチ等の具体的な提案も含めた意見が寄せられました。

次に、20、計画策定プロセスに関するご意見としまして、市民の意見を十分に聞いておらず、有識者会議でも十分な議論がされていないため、一旦白紙とすべきといった意見が寄せられました。

最後に、21、中心市街地のまちづくりに関するご意見としまして、一貫性のない街づくり計画と断片的な整備により中心市街地活性化が図れていないといった指摘の意見が寄せられました。

これら計43件のご意見の原文、そして、それぞれのご意見に対する市の考え方につきましては、資料2に記載しておりますが、委員の皆様には事前に資料を配付させていただきご確認いただいておりますので、ここでは、今回のパブリックコメントでいただいたご意見を踏まえ、計画案の修正を行う内容の案について、ご説明させていただきます。

資料1の3ページをお願いします。

項目の6、計画案に反映させる意見であります。

まず1つ目としまして、日陰についてであります、「歩いて気持ちよくなる街には木陰が必要である。」といったご意見に関しまして、市としましては、日陰については、居心地が良くやすらぎのある空間づくりにおいて必要な要素と考えますので、本計画案17ページの方針に基づく主な施策中「■居心地が良くやすらぎのある空間づくり」において、「快適に過ごすことができる日陰空間の確保」を追記したいと考えております。ここで、資料3「計画修正案」の2枚目、ページ下に記載のページ数で言いますと17ページをご覧ください。赤字で記載しておりますとおり、「快適に過ごすことができる日陰空間の確保」という記載を加える修正を行いたいと考えております。

資料1の3ページにお戻りください。

2つ目としまして、治安、安全・安心な環境整備についてであります、「照明の増設や防犯カメラの設置、警察・地域団体との連携など、ハード・ソフト両面での安全対策を明記すべきである。」といったご意見に関しまして、市としましては、駅前広場は、多くの方が昼夜を問わず安心して過ごせる場所であることが大切だと考えており、本計画案16ページの駅前広場等整備の基本方針においても「安全・安心で人に優しい空間づくり」を掲げているところであります。ご意見にあります夜間の照明や防犯カメラの設置については、駅前の防犯環境をより良くするために重要であると考えているため、駅前広場等整備の基本方針として、本計画案16ページの方針に基づく主な施策中「■安全・安心な環境整備」において、「照明や防犯カメラ等の設置による利用者の安全確保」を追記したいと考えております。

資料3「計画修正案」の1枚目、ページ下に記載のページ数で言いますと16ページをご覧ください。赤字で記載しておりますとおり、「照明や防犯カメラ等の設置による利用者の安全確保」という記載を加える修正を行いたいと考えております。

資料1にお戻りいただき、3ページをお願いします。

3つ目としまして、シェルターについてであります、「計画内で“天候に左右されな

いシェルター”といった趣旨の記載が見られるが、提示されているパース等からは、その具体的な内容が十分に読み取れない。」といったご意見に関しまして、本計画案におけるシェルターは、地上部において歩行者の利便性を高め、天候に左右されずに滞在・移動できる空間の確保を目指しているものであるため、いただいたご意見を踏まえ、シェルターが地上部のものと分かるよう、本計画案の本文中に説明を追記したいと考えております。

資料3「計画修正案」の2枚目、ページ下に記載のページ数で言いますと17ページをご覧ください。赤字で記載しておりますとおり、「地上型シェルター（屋根）」と地上部のものと分かるような表現に改める修正を行いたいと考えております。あわせて、計画案の次のページ、18ページとなりますが、整備計画図中の記載も同様に改める修正を行いたいと考えております。

なお、本計画案にはイメージパース図も掲載いたしますが、イメージパース図につきましては、あくまでイメージとして空間の全体像を優先しており、シェルター等の構造物については表現しないこととしたいと考えております。

資料1にお戻りいただき、3ページをお願いします。

4つ目としまして、使う側の視点に立った設備の整備についてであります。イベント内容を工夫して多くの人達が来なくなる魅力的な街とすることが大切であるといった趣旨のご意見が寄せられたことを受けまして、市としましては、まちの活性化に資するにぎわいを創出するためには、利用する側だけでなくイベント等を主催する側にとっても使いやすい施設とすると必要があると考えているため、本計画案16ページの方針に基づく主な施策中「**■**人々が集い・交流できる空間づくり」において、「イベント主催者等が円滑かつ効率的に施設を使用できるよう使用者視点に立った設備の整備」を追記したいと考えております。

資料3「計画修正案」の1枚目、ページ下に記載のページ数で言いますと16ページをご覧ください。赤字で記載しておりますとおり、「イベント主催者等が円滑かつ効率的に施設を使用できるよう使用者視点に立った設備の整備」という記載を加える修正を行いたいと考えております。

なお、修正箇所を溶け込ました資料としまして、資料4が計画案の全編、資料5が計画案の概要版となります。

資料の説明につきましては以上となりますが、本日、ご説明いたしました「小牧駅前広場等整備基本計画(案)」に関するパブリックコメントにおいて提出された意見及び意見に対する市の考え方」ならびに「基本計画の修正案」につきましては、委員の皆様からのご意見をいただいた上で、市として必要な修正等を行い、パブリックコメントに対する市の考え方につきましては、8月1日に市ホームページ及びパブリックコメント資料閲覧場所にて公表、また、基本計画につきましては、来月8月中の計画策定・公表をそれぞれ予定しております。

以上で、議題（1）「小牧駅前広場等整備基本計画（案）」に関するパブリックコメント

において提出された意見及び意見に対する市の考え方について」及び議題（２）「小牧駅前広場等整備基本計画（案）について」の説明とさせていただきます。

【大塚会長】

ありがとうございました。

この計画案に対してのパブリックコメントということで、個別の計画のため市民の皆さんの関心の高さが現れていて、かなりたくさんのご意見をいただいております。そちらが資料２に掲載されていて、それに対して市の考え方が右側に記載されております。こちらについては委員の皆さんは事前にご確認をいただいている中で、市として、これにどのように対応していくかということの考え方を示したものをご説明いただきました。委員の皆様、どこからでも結構ですので、できるだけ皆様に一言だけでも、これからのことでも何でも結構ですのでぜひご発言いただければと思っております。いかがでしょうか。

【磯部委員】

パブリックコメントの話や、これまでの感想も踏まえてお話させていただきます。私の専門は交通であるため、小牧駅を交通結節点としての観点から拝見しています。資料４の中にある計画書の１２ページに、小牧駅のアクセス手段として他の駅と比較すると、徒歩や自転車の利用割合が高いことが示されています。小牧線は急行が走っていない、各駅停車の路線であります。急行がある路線ですと、急行駅に路線バスが繋がったりします。急行が止まる駅と止まらない駅では性格が違う形になるのですが、小牧線は各駅停車であるため、利用者が沿線各駅に分散しているのだらうなと思います。そのため、駅までの移動距離が比較的短く、また、地形的な話もあると思いますが、徒歩や自転車によるアクセスが多くなっているのではないかと思います。ですから、駐輪が多いというのはそのような傾向かなと思います。

また、駅の駐輪というのは２つありまして、アクセス手段と書いてありますが、ご自宅から駅まで利用するパターンと、通勤・通学先の最寄である駅に自転車を置くイグレス型のパターンがあります。小牧駅はどちらが多いのかというところですが、おそらく両方が考えられます。今後は、こうした利用実態も踏まえながら、駐輪場の運用方法等について考慮して検討していくことが重要だと考えます。

シェルターについては、パブリックコメントで意見を出された方が「シェルター」という言葉自体が分かりにくかったのではないかと思います。ここでは屋根を指すものとして理解してもらうのがよいと思います。やはり屋根も必要でありまして、交通結節点でありますから、人がそこで乗り換え等で動くことになります。その時に雨に濡れずにですとか、屋根をうまく使えば日よけにもなるため大事だと思います。もう１つ、この図面を見ると、シェルターが広場内の１つの軸線を形成しています。この軸線をうまく活用することで、広場全体の分かりやすさや回遊性の向上にもつながるのではないかと思います。

さらに、小牧駅は市内バス交通の中心的なハブでもあります。名鉄のバス乗り場もこまくるのバス乗り場もあります。そのため、バスロータリーの規模や乗り場等の配置については、複数の交通手段の接続をこれまでの考え方も考慮しながら、今後も慎重に検討していく必要があると思います。

【大塚会長】

ありがとうございました。駐輪場の件とシェルターについてというところですが、シェルターについては、市の計画案に反映される意見になりますが、市の対応の中身についてはこちらで問題ないということによろしいですか。

【磯部委員】

問題ありません。

【大塚会長】

ありがとうございます。駐輪場については、私も先週の金曜日に改めて見てきました。今のあの状況をみて皆さんご意見を言ってみえるのかなと思いました。あの場所をよく見ると「仮設駐輪場」と書いてありましたので、あのままの状態ですずっと残るわけではなく、あくまで「仮設」として理解しました。今の現場をみて意見がかなり述べられているのかなと思いました。

他いかがでしょうか。

【丹羽委員】

審議会が始まった頃と比較しても、この半年から1年の間に小牧駅周辺の防犯情勢は極めて悪化しています。未成年によるカツアゲや自転車の窃盗、万引き等、多くの青少年犯罪が多発しております。これは結局、人の目が不在のため、防犯カメラなどのハード対策だけではなく、人間が監視をしていない広い広場というのは犯罪の温床になるというのは、過去、諸外国でも多くの例があるかと思います。大規模集合住宅に人が集まるようオープンスペースを作ったら犯罪者のたまり場になってしまった、などは多々ある例であります。これだけ広い面積のスペースを作るということは、明らかに犯罪者を集める場所になってしまうように思いますので、防犯への配慮をより一層強化する必要があります。交番設置についてもぜひ実現に向けて取り組んでいただきたいと思いますし、警察や地域団体とも連携しながら、駅前の安全確保に努めていただきたいと思います。

【大塚会長】

ありがとうございます。防犯についてより強固にというご意見ですが、事務局から何かありますか。

【事務局】

ご意見ありがとうございます。ご指摘のとおり、防犯対策は重要な課題であると認識しています。パブリックコメントの意見でも交番設置が実現できるのか懸念するようなご意見も寄せられております。資料2の3ページ、No. 15に「交番予定地とあるが、現実的にどうか見えてこない」というご意見がございます。右側に市の考え方をお示しさせていただいておりますが、これまでの有識者会議でもご説明させていただいておりますように、交番にしましては愛知県の施設であることから、設置基準等について、県の基準によるところというのがございますが、駅利用者が安全安心に利用していただけるといった点を確保するために、予定地として確保するために計画に位置づけをさせていただいております。今後計画策定後には、県警を含めて関係機関と協議を進めていきたいと考えております。

また、交番設置だけではなく、犯罪が発生する背景として、薄暗い状況ですとか施設が寂れている、老朽化しているという状況も犯罪を招く要因の一つだということが言われております。資料4が計画案の全編になりますが、資料4の15ページに現在の小牧駅周辺の状況や特徴・課題を整理しております。「舗装の痛みやトイレの故障、シェルターからの雨漏りの発生など、駅前広場全体が老朽化している」ということも課題として認識しています。こうした老朽化や、少し寂れて見えるような状況というのが犯罪を招く要因の一つとも考えられるため、そのような面でも綺麗な駅前広場で、誰もが訪れたいくなるような、安心して過ごせるような空間とすることが必要だと考えているところであります。

【大塚会長】

ありがとうございました。

防犯については、物理的な環境の整備によって抑止していくところと、もうひとつ、先ほどもお話がありましたとおり、みんなが、目が行き届いていると、誰かに見られているというような場所として認識してもらえんということがあるかと思います。そうなってくると、民間まちづくり団体との連携を今回大きな柱として掲げておられますので、駅前広場を整備してその空間を使いながら、たくさんの人が集まっていつも賑わっていると、ここは人の目が行き届いている場所だという認識が広がっていくことで抑止につながっていくのではないかと感じました。

ほかにいかがでしょうか。

オンラインで参加の生田先生、何かございますでしょうか。

【生田先生】

パブリックコメントを踏まえた修正内容については概ね適切であると考えています。特にシェルターについては、市民から見てやや分かりにくい表現であったことも理解できますので、今回の修正内容は妥当であると思います。

【大塚会長】

ありがとうございました。もし何かあればまた後ほどお願いいたします。

会場の委員の皆様、いかがですか。

【加藤委員】

シェルターという言葉ですが、今の話の中で使われているのは通路の屋根というような認識で固まっているような気がしています。しかし、西側の公園や今後整備される東側の都市公園についてもいろいろと多目的に、にぎわいを創出するための事業が行われる予定があります。その中で、現状本当に日陰もない、雨よけもない、という状況になっているので、そういうところにシェルターという意味の日陰、雨よけになるものが必要になってくると思います。固定的な施設だけではなく、仮設的に設置できるものや、利用方法に応じて展開できる設備なども含めて考えていく必要があるのではないかと思います。その意味では、シェルターという概念を通路だけに限定せず、今後使われるであろう都市公園にも、快適性向上の視点で捉えることが重要だと考えます。

【大塚会長】

ありがとうございます。

計画案に反映させる意見の4件のうち1番は日陰についての意見、3番は雨よけも含まれる意見ということになるかと思います。

他いかがでしょうか。

【秦野委員】

ご意見がたくさん出ている中で、どうしても気になるのは、バスロータリー整備に関する意見です。やはり移転に対して予算もある程度かかると思います。その中で説明に関しては、オープンスペースである都市公園を南側の市道小牧駅前線に面して整備することでアクセスがしやすい、日常的に利用しやすい空間になるということ。それはなんとなく、なんとなくそうかなとは分かるのですが、この2、3行の文章だけで皆さんが果たして納得できる理由・根拠になるのか、ということが私としては心配です。既存の施設をいかに活用しながら、更に効果的な緑地に持っていくのか。緑が少ないということなので、緑をたくさんにしたいだけのほうがやはりベターだと思います。このあたりの市の考え方についてですね。バスロータリーに関する意見が非常に多いということなので、もう少し具体的な効果を述べられた方が良いのではないかと私は思いました。これ以外に考えられる効果があるのであれば、その点を入れていただきたいと思います。

【大塚会長】

ありがとうございます。

今の話ですと、この計画案に反映される意見は、たくさんある中で4件を取り上げて計画案に修正を加えるというのが市から示されている案ですが、これに加えてバスロータリーの話ももう少し、今の書きぶりよりも踏み込んで加筆した方がよい、というご意見でしょうか。それは例えば、資料4の本編内のどのあたりでしょうか。広場の整備方針のところでは今修正を入れているところの16、17ページあたりになりますか。具体的にどこをどうというのがあればご指摘いただければと思いますがいかがでしょうか。

【秦野委員】

18ページにある、「シンボルロード沿いににぎわいに資する公園の整備」という、この一言だけなんですよね。この一言だけでバスロータリーを動かす、そのためにかなりの金額を使うということになるわけですよ。この資料上から判断できることは。ここに緑地があることでどんな効果が本当に出てくるのか。また、なぜシンボルロード沿いである必要があるのか、という点について、きちんと説明しないとなかなか納得は得られないのではないかと思います。

これだけ意見が出ている以上、ある程度、説明を加える必要があるのではないのでしょうか。

シンボルロードに関しては中心市街地の整備計画等で言及はされていると思うのですが、確か小牧駅までだったような気がします。駅の西側というイメージが非常に強く、東側までは言及されていない、という中で、どのように計画とこれを結びつけながらにぎわいをつくっていくのかということも、論点の1つではないのかなと思った次第です。

【大塚会長】

ありがとうございます。

この委員会ではこの原案で進めさせていただいていたわけですが、パブリックコメントにかけたら、あまりにもそこの部分についての意見がたくさんあったので、やはりその意見を踏まえて何らかの考えを示さないといけないのではないかと。今まで考えてこの会議の中で共有してきた内容を、もう少し強くアピールしていくような説明をしないとなかなか理解してもらえないのではないかとということでよろしかったでしょうか。

【秦野委員】

そうですね。このような基本計画は庁内でも様々な担当課さんが絡まれると思います。先ほど緑の話も出ましたし、当然公園の整備も必要になってくるので、様々な課がどのようにこれに参加していくのか。また、今までまとめた基本計画、整備計画がありますので、そのあたりもどのように関連させながら考えるのか。駅は駅で単独ということではないような気がします。

例えば関連する施策・計画についても、基本計画の中にも言及させていただいて、その関連

性の中で、小牧の中心市街地を、駅から駅周辺含めて小牧山までの動線としてどのように整えていくのかを示していただけると良いと思います。

そのような計画との関連性を根拠として示したうえで、バスロータリーが北へ移動するという方向性になったとの説明の仕方があるのではないかと思いますので、そういった意味での発言として捉えていただければと思います。

【大塚会長】

そうしますと、この計画書自体を修正するというよりも、意見をいただいた内容に対して市の考え方はこう考えていますよというところを、もう少し丁寧に書いた方がいいのではないかというお話ですね。それでいくと番号は何番になりますか。

【事務局】

資料の2内、No. 6のご意見に対しての市の考え方のところのバスロータリーについてとして市の考え方は示させていただいているところです。

【大塚会長】

その中に、今の秦野委員のご意見を踏まえて、もう少し丁寧に説明を加筆することは考えられますでしょうか。

【事務局】

まず、こちらのロータリーと公園を南北入れ替えて、公園・オープンスペースをシンボルロード沿いにするというのは、これまで有識者会議の方で、ご説明させていただいたところであります。しかし、秦野委員がおっしゃるとおり、ここの部分について反対される方も多かったという部分ありますので、丁寧な書きぶりにすると同時に、本編の18ページのオープンスペースのところの書き込みも、もう少し皆さんにわかりやすいような形で手厚い書き方を検討して修正をしていきたいと思っています。

【大塚会長】

ありがとうございます。

では、その点につきまして、たくさんのご意見をいただいているということですので、そこについてはもう少し丁寧に回答するというところでお願いしたいと思います。

他いかがでしょうか。

【林委員】

ウォーカブルなまちづくりを進める上では、一見無駄に見える空間も必要だと思います。ただし、その無駄は本当の無駄ではなく、計画された無駄でなければならないと思います。

単に広場を整備するだけではなく、先ほど加藤委員もおっしゃったように、人が滞在し、たくさんの方がそこに来ていただけるような施設を目指していきたいと思いますので、ぜひ計画に落とし込んでいただけたらと思います。

【大塚会長】

ありがとうございます。

実際、駅前広場を整備してそれで終わりというよりも、それを起点としながらどう連続して面的に展開していくか、その次の段階も重要になってくると思いますので、今日出た意見も踏まえて進めていただければと思います。

他いかがでしょうか。

ぜひ一言ずつと申し上げましたが、1人1回ではなくて、皆さんの意見を聞いているうちに、もう少し意見がというようなこともあればぜひお願いしたいです。

【舟橋委員】

令和5年度から策定を進めてきて、やっとここまで来たのかなと思っております。パブコメで43件意見が出たということで、非常に注目されている計画だと改めて感じました。本日様々な貴重なご意見をいただき、パブコメの市の考え方につきましても、修正点がありますので、そのようなところを踏まえて今後、計画策定に向けて進めていきたいと思います。またあわせて、多大な税金を投じる事業でもありますので、しっかり財源を確保しながら、計画的に整備できればと思っております。

【大塚会長】

ありがとうございました。

ほかにご意見はよろしかったでしょうか。

皆様、活発なご意見、どうもありがとうございました。

本日の委員の皆様からいただいた意見等を踏まえまして、必要に応じて小牧市の方で修正を加えていただき、小牧駅前広場等整備基本計画を策定していかれることになるかと思われまのでよろしく願いいたします。

それでは、次第の「3その他」に移ります。その他として何かありますでしょうか。

【事務局】

事務局より1点、今後の予定についてご連絡させていただきます。

先ほどもご説明させていただきましたが、委員の皆様これまで様々なご意見をいただきながら策定を進めてまいりました「小牧駅前広場等整備基本計画」につきましては、8月に策定・公表を予定しております。

そして、「小牧駅前広場等整備基本計画に関する有識者会議設置要綱」に基づき、皆様方

委員の任期は、基本計画の策定をもって終了となります。

これまで4回にわたり開催してまいりましたが、委員の皆様におかれましては、ご多忙の中ご参加いただき、毎回多様なご意見を賜りましたこと、また、委員の皆様からの貴重なご助言等により、本計画案を取りまとめることができましたことを、心よりお礼申し上げます。誠にありがとうございました。

また、修正案をまた作成をいたしましたら、会長に1度ご確認をさせていただき、その上で確定していきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

【大塚会長】

ありがとうございました。

その他、他の委員の皆様からご発言はございますか。

【秦野委員】

もう一点よろしいでしょうか。

資料1の4ページ目の考え方の2行目に、先ほど加藤委員が言われたシェルターの話が考え方として出てきますが、天候に左右されずに滞在、移動できる空間の確保と書いてあります。この滞在という言葉が、計画に入っているのか。私が目をとおしたところ、移動の文字は出てきますが、滞在は出てきてないような気がします。どこか計画にあったか確認させてください。

【事務局】

滞在というワードの記載があるかとのことですが、資料4の15ページ右側の課題3「居心地の良さの視点による課題」の中に、「駅前広場全体のリニューアルを図り、きれいで滞在したくなるような居心地のよい空間とする必要があります。」とあり、滞在というワードを計画書に記載させていただいております。

【秦野委員】

そこ1点ですか。

【事務局】

そうです。上位計画にこう書かれています、というように滞在というワードが出ていることもありますが、本計画案の方向性や整備方針に関する部分での滞在は先ほど申し上げた部分のみになります。

【秦野委員】

意味的には分かりますが、考え方には「天候に左右されずに滞在・移動」とあります。な

ので、その考え方からすると、どのような計画になるのか。要するに「天候に左右されずに」という言葉が入るか入らないかで滞在の意味も変わってくるような気がします。なので、その考え方に沿うのか、それとも「天候に左右されずに」という言葉は計画には入らないのか、そういったところになります。

【大塚会長】

雨が降ってくるとそこに滞在できなくなるからもう引き上げるしかない、となるわけではなく、雨が降っていてもそこに滞在することができるということですかね。

【秦野委員】

そうです。にぎわいをつくろうと思うと、東京では日陰が非常に大事なので樹冠率の高い樹木、非常に大きな木が多数、公園には植えられていたり、緑化で駄目であれば、それ相当の風雨をしのげるような大屋根でオープンスペースのところが設けられています。

滞在といったところを、日差しの強烈さ、芝生であっても夏になると非常に暑くなります。そういった意味で、天候に左右されずという言葉が考え方の中に入っているのは理解していますし、そうであればありがたいと思っています。ただ、実際の計画の中にそういった言葉が入るか入らないのかによっても、かなりにぎわいにつながるかつながらないかが大事なのではないかと思います。特に冬の駅前ほとんど人がいません。寒いから当たり前ではありますが、そういったことも勘案すると、この考え方にある「天候に左右されずに」という言葉が、計画の中には記載されていません。そういったイメージのズレといいますか、その点が少し心配であったので、引っかかる場所として発言させていただきました。

【大塚会長】

ありがとうございます。

そうしますと課題としての認識よりも、方針の部分、16、17 ページの方針 1 の「にぎわい」の中に今ご指摘のあった「滞在」という文言がうまく入ると良いのではないかと思います。それが可能でしょうか。

【事務局】

ご意見ありがとうございます。もちろん、滞在ということで、居心地の良い空間をつくるという考え方は持っておりますので、滞在していただきたいと考えております。

ただ、シェルターに関しては、必ずしも天候に左右されずに滞在できるものになるかという、なかなか難しい部分もあります。今、お話いただいている 16 ページの「にぎわい」の箇所ですが、「屋内において集い・交流ができる空間の維持・拡充」という記載があります。この部分が実際に天候に左右されずに集える場所をとるという考え方にあたるものです。どちらかというと、シェルターの考え方の中で滞在できるというのは現実的に、例えば大屋根

で覆う、などのようなことは難しいのではないかと考えていますので、そのあたりも踏まえてこの書きぶりを修正するのか、計画を修正するのかについて検討させていただきたいと思います。

【大塚会長】

滞在という言葉が非常に重要だということを再認識させていただきました。にぎわいをいかにつくるかが 1 番のポイントですが、そのにぎわいも、単に人が行きかうだけではなく、そこに人が集い、滞在していただいて初めて、我々が目指すにぎわいづくりになるのではないかと思います。そう考えると、かなり重要なことではないかと思いますので、そのあたりについて事務局と相談させていただき、対応するというところでよろしいでしょうか。

【秦野委員】

結構です。

【大塚会長】

ありがとうございます。ほかによろしかったでしょうか。

ちなみに、先ほど計画の策定をもって我々の任期、との話だったと思うのですが、いつが策定になる予定か最終確認をさせてください。

【事務局】

現時点では正確な日にちはまだ決まっておりませんが、8 月中に策定となります。策定しましたら委員の皆様にはご連絡させていただきます。

【大塚会長】

ありがとうございました。他に発言がないようでしたら進行を事務局へお返しします。
どうもありがとうございました。

【事務局】

ありがとうございました。本日は会議にご出席をいただき、また、活発な議論、ご意見をいただきありがとうございました。

それでは、これをもちまして第 4 回小牧駅前広場等整備基本計画に関する有識者会議を閉会いたします。

本日はありがとうございました。